

学習会 「安楽死」、「尊厳死」とは何か ～法制化の底流を探る～

通常国会が閉幕し、「尊厳死法制化を考える議員連盟」が目指していた「終末期の医療における患者の意思の尊重に関する法律案」の上程は行われませんでした。しかし、議員連盟では臨時国会での上程を改めて目指すとしています。

この間、私たちは、障害者・患者として法制化に反対する立場から様々な活動を展開してきました。今後も引き続き、法制化反対の取り組みを継続していく決意です。

今回、障害や疾病の有無に関わらず、すべての人にとっての課題であるとの認識から、改めて「安楽死」、「尊厳死」の意味を問い、なぜ法制化の動きが出てくるのか、諸外国の状況はどのようになっているのか、議論を深めていくために学習会を計画しました。国会議員、医療関係者、宗教者、法律家など幅広い分野の方々に参加を呼びかけていきたいと思っています。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

日時：2012年10月11日(木)

13時30分～16時30分（開場：13時00分）

会場：参議院議員会館 B109

定員：70人(定員になり次第締め切らせていただきます)

*必ず事前の申込みをお願いします

参加費：無料(当日カンパ要請をさせていただきます)

【プログラム】

講演 「安楽死」、「尊厳死」とは何か～法制化の底流を探る～

講師 立岩 真也さん(立命館大学大学院先端総合学術研究科教授)

質疑討論

国会議員アンケート 結果報告 尊厳死法制化に反対する会

いろいろな立場からの発言 議員挨拶(予定)

<お問い合わせ・申込み先>

参加申込みは、0426-60-7746 まで、FAX もしくは、office@j-il.jp へメール

でお願い致します。

【連絡先】全国自立生活センター協議会

〒192-0046 東京都八王子市明神町 4-11-11-1F

TEL : 0426-60-7747 FAX : 0426-60-7746 Email : office@j-il.jp

【主催】尊厳死法制化に反対する会

【講師のプロフィール】

立岩真也氏

1960年、佐渡島生。専攻は社会学。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。
千葉大学、信州大学医療技術短期大学部を経て、現在立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。

著書に『生の技法——家と施設を出て暮らす障害者の社会学』（共著、藤原書店、1990、増補・改訂版1995）、
『私的所有論』（勁草書房、1997）、『弱くある自由へ——自己決定・介護・生死の技術』（青土社、2000）、
『自由の平等——簡単に別な姿の世界』（岩波書店、2004）、『ALS——不動の身体と息する機械』（医学書院、2004）、
『希望について』（青土社、2006）、『所有と国家のゆくえ』（共著、NHK出版、2006）。
現在『Webちくま』（筑摩書房のHP）に「よい死」連載中。

お名前（ふりがな）	
介助者（人数をご記入下さい）	名
ご所属	
ご連絡先 （メールアドレス、電話番号等）	

FAXでお申し込みの方はこの表をご利用ください。 **0426-60-7746**

会場：参議院議員会館 B109

東京都千代田区永田町一丁目7番1号

最寄り駅：東京メトロ 丸ノ内線・千代田線 「国会議事堂前駅」
有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」

